資料３

【令和６年度第１回宮城県農村振興施策検討委員会】

みやぎの地域資源保全活用支援事業について

１　令和５年度の実績について　【P1】

２　令和６年度の計画について　【P3】

【第１１回みやぎのふるさと農美里（のんびり）フォトコンテスト（Ｒ５）】

－宮城県知事賞「伝統の舞」（南三陸町）－

宮城県農政部農山漁村なりわい課

１．令和５年度の実績について【補正後 8,420 千円（当初 13,000 千円）】

みやぎの地域資源保全活用支援事業（国事業名：ふるさと・水と土保全対策事業）は、中山間地域等の農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、活動を推進する人材の育成や農地・施設の保全及び利活用の促進に対する支援を実施しているもの。

なお、令和５年度の実績は、以下のとおり。

（１）　基金運用見込み

（単位：千円）

	Ｒ４年度 実績	Ｒ５年度 実績	増　減	対前年比
基金元本（年度末）	661,912	656,466	▲5,446	99%
基金積立	0	0	－	－
基金戻し入れ	13	26	13	200%
基金取崩	5,129	5,472	343	107%
基金運用益 （※R2～R4 平均 3,191 千円）	927	1,043	116	113%

（２）　主な取組（事業費６，２１５千円）

①　ふるさと水と土指導員・保全隊に対する補助（事業費１，９３５千円）

県内１１の保全隊等の保全活動に対し補助金を交付

②　第１１回みやぎのふるさと農美里（のんびり）フォトコンテストの開催（事業費１４１千円）

農業農村の魅力を広く紹介するため、フォトコンテストを開催（宮城県中山間地域活性化推進協議会，宮城県土地改良事業団体連合会と共催）した。

また、県庁１階ロビーにおいて、第１０回入賞作品の展示を行い、広報活動を実施したもの。

・募集期間　令和５年８月１日（火）から１２月２８日（木）まで実施
・審 査 日　令和６年２月１３日（火）
・県庁１階ロビー展示期間　令和５年７月３１日（月）～８月４日（金）
※第１０回入賞作品

③　ふるさと水と土指導員研修会の開催等（事業費１，６２０千円）

農業･農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム等（旧ふるさと水と土基金全国研修会）については、令和５年１２月６日（水）～７日（木）に砂防会館別館（東京都）において開催され、本県からは１名が参加した。

また、地域住民活動の活性化推進を担うふるさと水と土指導員を支援することを目的に次の研修会を開催したもの。

・中山間地域等地域資源保全活用研修会　令和６年２月１日（木）
　対面・Web 併用開催　８人参加

④　地域住民活動促進事業（事業費１，８５２千円）

令和５年度における地域資源等保全活用支援事業（事務所提案事業）は下記のとおり。

・生物多様性に配慮した環境づくり（仙台地方振興事務所）
　住民向けの環境学習会などを開催し、生物多様性の重要性について理解促進を図り、今後の保全活動における協力体制を構築するもの。

・大崎地域世界農業遺産の理解促進に係る地域資源活用事業（北部地方振興事務所）
　世界農業遺産「大崎耕土」に関する水管理施設の位置関係や必要性（価値）を可視化し、地域資源の利活用や維持・保全活動の理解向上を図るもの。

⑤　地域住民活動の人材育成（事業費６６７千円）

宮城県農業大学校と連携し、大崎地域世界農業遺産の巧みな水管理システムの維持継承に向けた人材育成を図るもの。

また、県内の農業関係高等学校等との連携構築により、農業人材の育成を目指すもの。

なお、令和５年度に実施した教育機関との連携内容は、Ｐ４のとおり。

⑥　国の事業実施計画における成果目標に対する実績

・地域住民活動を通じた地域づくり支援　【目標３地区】⇒２地区
・地域住民活動、調査研究等に係る補助事業　【目標１２団体】⇒１１団体
・ふるさと水と土指導員の研修会　【目標１回】⇒１回
・ふるさと水と土指導員の育成（全国研修会参加者）　【目標３人】⇒１人
・第三者検討委員会の開催　【目標２回】⇒３回

２．令和６年度の計画について　【当初予算 13,000 千円（前年当初 13,000 千円）】

みやぎの地域資源保全活用支援事業（国事業名：ふるさと・水と土保全対策事業）を実施し、中山間地域等の農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、活動を推進する人材の育成や農地・施設の保全及び利活用の促進に対する支援を実施するもの。

なお、令和６年度の計画は、以下のとおり。

(1)　主な取組（事業費１３，０００千円）

①　ふるさと水と土指導員・保全隊に対する補助（事業費２，６４０千円）

県内１０の保全隊等の保全活動に対し補助金を交付予定

②　第１２回みやぎのふるさと農美里（のんびり）フォトコンテストの開催（事業費１５０千円）

農業農村の魅力を広く紹介するため、フォトコンテストを開催予定（宮城県中山間地域活性化推進協議会、宮城県土地改良事業団体連合会と共催）

③　ふるさと水と土指導員・保全隊研修会の開催等（事業費１，７５０千円）

ふるさと水と土指導員等の交流を兼ねた研修会を開催予定

④　地域住民活動促進事業（事業費６，５００千円）

地域資源の保全活用について、各地域の特徴ある保全・活用を図るため、各地方振興事務所からの提案事業を実施するもの（今後、要望量調査を実施）

・地域資源保全活用調査（３地区、事業費４，５００千円）

・地域資源保全活用工法研究（２地区、事業費２，０００千円）

⑤　地域住民活動の人材育成（事業費１，９６０千円）

宮城県農業大学校及び県内の農業関係高等学校等との連携構築により、農業人材の育成を目指すもの。

・農業大学校４９０千円、農業関係高等学校等（６校）１，４７０千円

⑥　国の事業実施計画における成果目標

・地域住民活動を通じた地域づくり支援　【目標３地区】

・地域住民活動、調査研究等に係る補助事業　【目標１２団体】

・ふるさと水と土指導員の研修会　【目標１回】

・ふるさと水と土指導員の育成（全国研修会参加者）【目標３人】

・第三者検討委員会の開催　【目標２回】

令和５年度の主な取り組み⑤　地域住民活動の人材育成（宮城県農業大学校）

➢ 世界農業遺産を普及するための人材育成の一環として、宮城県農業大学校において、世界農業遺産「大崎耕土」の内容を盛り込んだ講義を実施するもの。

１　目　的

○　宮城県の農業の将来を担う人材として、大崎耕土の水管理システムがもたらす多面的機能や農村環境の保全についての理解を深める

２　実施内容

（１）１年次（全学部の学生４３名）

- 内容：「農学基礎実習」の授業として「世界農業遺産と水管理システムについて」（講義・見学）２コマ
- 実施場所：水田経営学部教室・農業水利関連施設等
- 講師：宮城大学事業構想学群　郷古雅春先生
- 時期：5月９日

（２）２年次（水田経営学部学生１２名）

- 内容：「環境保全型農業」の授業として「農村環境と生き物調査」（講義・実習）２コマ
- 実施場所：水田経営学部内水田
- 講師：大崎市世界農業遺産推進課職員
- 時期：７月１４日

令和５年度の主な取り組み⑤　地域住民活動の人材育成（農業関係高等学校など）

➢ 農業人材育成の一環として、県内の各高等学校において、関連授業等を実施するもの。

１　目　的

○　宮城県の農業の将来を担う人材として、関連授業等を通じ、農村環境の保全や多面的機能についての理解を深める

２　実施内容

（１）伊具高等学校

・内容：地域住民と「大張沢尻棚田（つなぐ棚田遺産：農林水産省選定）」に係る保全活動等

（２）小牛田農林高等学校

・内容：「大崎耕土」の関連施設見学、地域の環境保全推進協議会員や市職員による講話の聴講等

（３）南郷高等学校

・内容：「大崎耕土」内の水田圃場等における生き物調査、南原穴堰の清掃活動等

（４）古川黎明高等学校

・内容：「大崎耕土」に関する課題研究発表等

令和６年度みやぎの地域資源保全活用支援事業概要

事業目的

中山間地域等は、過疎化、高齢化等の著しい進行により、地域の活力が低下しつつある。農地や土地改良施設等の地域資源の利活用を基本とし、地域住民活動の多様な展開を促進することにより地域の活性化を図り、地域住民活動を推進する人材の育成、地域資源の利活用及び保全整備等を促進するものである。

【基金】・Ｈ５～９年度基金造成　　６６０，０００千円（拠出割合：国１／３、県２／３）
　　・Ｒ５年度末基金残高　　６５６，４６６千円（Ｒ６年３月末時点）

【根拠】・（国）中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱
　　・（国）中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要領

県条例及び要綱・要領等

・中山間地域等農村活性化基金条例（H31.3 改正）

・みやぎの地域資源保全活用支援事業実施要綱
（R2.4.1 施行，R4.2.1 一部改正）

・みやぎの地域資源保全活用支援事業補助金交付要綱
（R2.4.1 施行，R4.2.1 一部改正）

事業内容

予算額：１３，０００千円（内６，５００千円事務所提案枠）

（１）地域資源に係る調査研究事業【７，３３０千円】

地域住民活動による土地改良施設や農地等の維持、補修、保全などの農山漁村振興に関わる調査や資源活用の検討を支援

①ワークショップ等による住民活動支援、土地改良施設等地域資源の工法研究

（２）ふるさと・水と土指導員等研修事業【２，９８７千円】

①地域住民活動の活性化を図る指導員やリーダーの人材育成・確保

②農業人材育成に係る教育機関との連携（農業大学校・農業関係高等学校など）

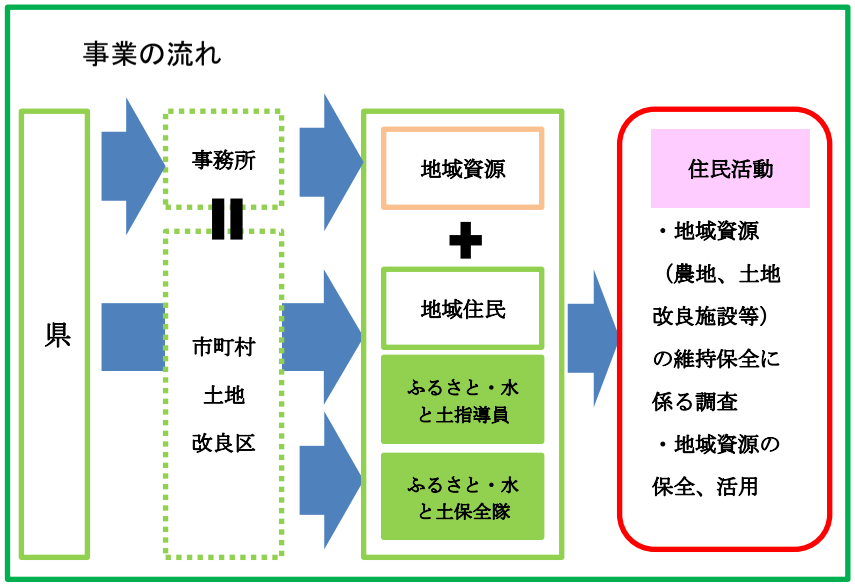
（３）地域資源の保全活用推進事業【２，６８３千円】

地域資源を活用した地域住民活動を実践する組織の構想化、設立支援及び活動への支援

①農村振興施策検討委員会の開催

②歴史的価値がある施設や環境配慮、親水施設等の地域住民が参画した保全活動を支援

③農村コミュニティの活性化による住民活動支援



地域資源とは

自然環境、特産物、伝統的技術、文化財、歴史的・文化的施設、人材、コミュニティ等

事業効果

・歴史や文化、環境、生態系、景観など保全すべき資源調査による地域特有の資源が再発見され、６次産業化などの新たな起業が創設される。

・地域住民活動による農村に伝わる伝統文化及び伝統食の継承等により、コミュニティの維持及び農村地域の活性化が図られる。